

Wound, made and played the traditional way-by hand!



# K & T Pickups

*Collection*

MUSIC LAND KEY Presents

# TOPS

◆◆◆世界初『12の選択!』TOPS◆◆◆

TOPS



【スタンダード】

【split specs】

ハムバッカーの弱点である距離位相による特定周波数の欠損を補うべく50年代同様の手法を施してある稀有なフロダクトにあり、これにより12次倍音etcの再現改善に劇的な効果があります。ダイナミックレンジが広く、分離良く、高域特製に優れた世界のトップギタリストが選んだサウンドです。

【step gap winding】

当初は断線防止等のセフティー策として取り入れられた特殊構造により生じたギャップが結果、ハイレゾナンスを向上させるという奇跡的な二次効果を実現したのがKT/WEEPです。キャパシタンス効果を激減したために反応が鋭く早くハイミッドの含有量が豊富な至高のサウンドです。一口にPAFとくくられるPUにも機種・年代によりバラつきではない数種のバリエーションが存在します。キャラクターの判別用として3種の仕様をスタンバイさせたのがKT TOPSです。

【エイジドマグネット】

多くのヴィンテージモデルピックアップ製作者は、退磁したヴィンテージマグネットの状態に近づけるため、アルニコ2や3を採用した機種を製作していますが、アルニコ2で7.5KG強、アルニコ3で7KG程の値であり、退磁したアルニコ5のそれを下回ってしまいます。しかしアルニコマグネットに任意の磁力を持たせる事は電磁段階では殆ど不可能。フル着磁しか方法がありませんでした。ポールピースとの間にスパーサーを挟み込んだメイカーも存在しますがマグネットそのものに加工を施したメイカーは存在しませんでした。

K&TのAged Magnetは特殊な専門工具により、手作業による繊細で段階的な消磁を可能にしました。これにより従来の「新品だった当時のサウンド」に加え、「特定年月を経過したサウンド」をもフロダクトに加える事が可能となったのです。この技術の確立により得られたものは、製造後約10年を経過したPAF(ビーンアルバム)のECやスーパーセッションのMB等)その時点の磁束密度を再現する事により音色をも再現する事に更なる大きな一歩を踏み出す事となったのです。

【N.O.S.コイル】

【N.O.S. vintage coil】

N.O.S. = TOPSは60年代初期のヴィンテージコイルを完全手巻きで組上げたスーパーヴィンテージハムバッカーです。音響関係者の間では定説となっているヴィンテージコイル、俗にN.O.S. (New Old Stock) と呼ばれるこの材料の特徴は、現在流通している再生銅を使用したコイルに比し結晶レベルの均質、結晶方向の一定性によりあきらかに異なるトーンキャラクターを持っています。この限りある材料を惜しみなく使用した物がK&T N.O.S. シリーズです。この他にも老朽化したヴィンテージピックアップに満足されなかったお客様にN.O.S. マグネットにN.O.S. ヴィンテージコイルを巻いた物を製作いたします。あくまでも材料がキープできた時のみの完全限定生産品です。徹底的な管理のもとにひとつひとつにシリアルナンバーが刻印されています。

【エイジドマグネット&N.O.S.コイル】

世界のトップギタリストを驚愕させたK&T完全手巻ピックアップ。天才マスタービルダー「萬野 順」氏が手だけで巻いたTOPS。海外のピックアップビルダーは数年ギター工場に勤務してからオリジナルピックアップを高速巻線機で製作してきたため、ビルダー個人の個性的な音色止まりでした。K&T完全手巻ピックアップは30年間数千個のヴィンテージPUを分解・検証しました。高級輸入コイルで巻き始めは超スロー、超ローテンション、繰く数百回をスロー、ローテンション。続いてはランダム巻きでのスローミッドテンションを施す事により、50年振りに失われていた高調成分を世界で初めて獲得したTOPS。賢を尽くした匠の技の極めがエイジドマグネット&N.O.S.コイルのTOPSなのです。

オリジナルのPAFには比較的起電力(出力)の高いモデルが割割存在していました。これは良く言われる工作機械の精度不足やビルダーの怠まくれなどと言ったネガティブな要因に依るものではなく、意図的に特定モデルの出力、音質補正のためにあえて高出力のタイプを製作し、これらに搭載していたのです。これらとはエボニー指板やヴァリトーンスイッチ付きボローポディーと言った、中高域にヒックを持ついわは高級機種でカタクログのトップに君臨する機種に大きな説得力を持たせるアイデアでした。

60年代に入ってイギリスの新進気鋭のギタリスト達はその優れた鑑別力でもこの事実を見抜きました。本来なら搭載されるはずのないスタンダードモデルにこの高出力ピックアップを装着して、フリティッシュロックの古典的なサウンドキャラクターが完成したのにはこのような背景があったのです。

K&Tではローリング60'sに行われ、結論として導き出されたこのトーンの復活をここに果しました。このモデルの為にコイルの銅成分、絶縁被覆の厚み、距離ごとの抵抗値などを再検討し、鋭さを失うことのない高域、豊かな中域、安定感のある低域を獲得しました。ポビンのカラーによるキャラクター区分は従来通りですが3タイプ中どれを選択してもその実力は同等になっています。

またこのTOPSはK&Tだけが成し得た【スタンダード】【エイジドマグネット】【N.O.S.コイル】【エイジドマグネット&N.O.S.コイル】仕様と【BB】【ZB】【WW】仕様とのカップリングにより12種類のヴァリエーションを持つ事に成功しました。



【BB】

60年【BB】クリーン&メローな響きでジャズ・ブルースギターの輝きある極上サウンドです。

【ZB】

59年中期【ZB】ややパワフルで粘りあるブルースロック、パンク等のファットサウンドです。

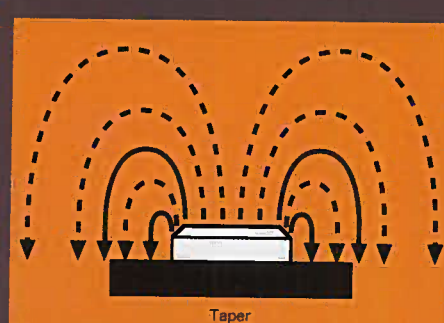
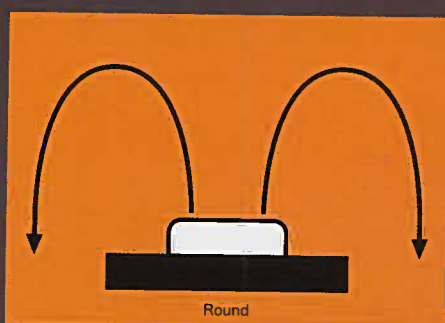
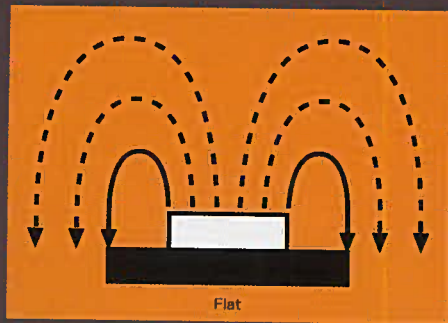
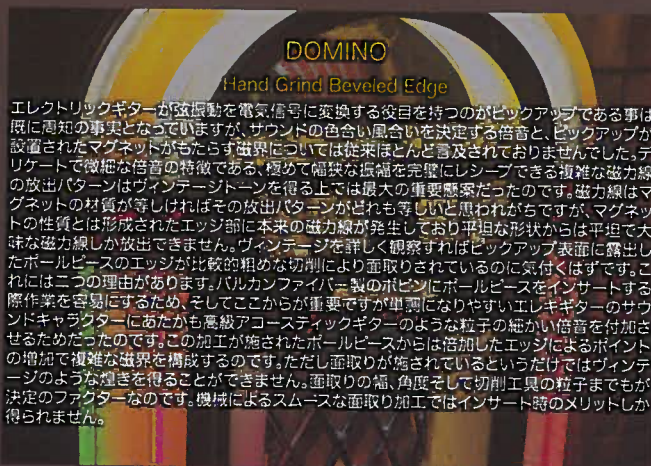
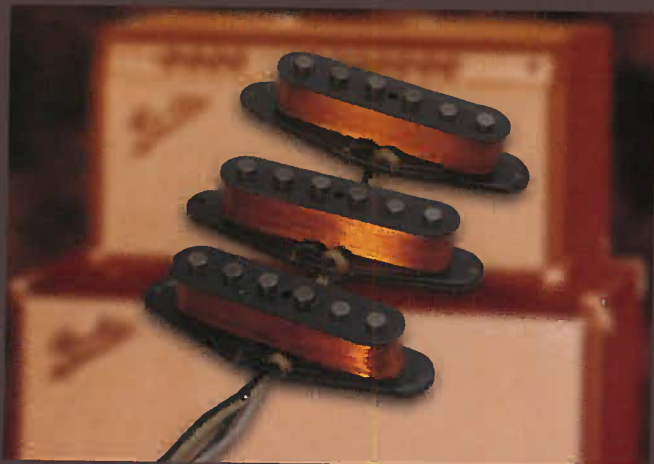
【WW】

59年後期【WW】60年代EC、JB、JP達が音圧と持続音によりロックギターサウンドを確立。

◆まずはスタンダードモデルからお試ください。私達に出る事は製品の製作や管理、仕様説明のみです。あなたが探していたトーンが見つかった場合のみ、購入を検討してください。

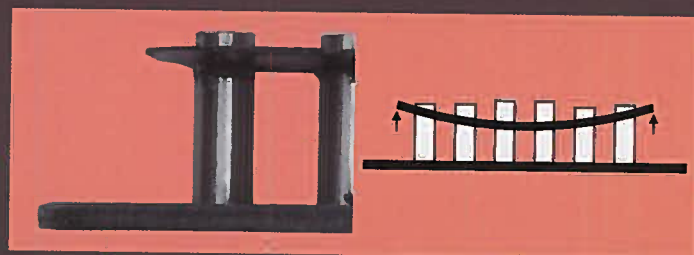


# Domingo



## Magnetic induction

アルニコの着磁はすべて同じと思いませんか？実際は意図した磁束密度を均質に得る事は、同極がそれも長さ違いで何本も並立するシングルコイルピックアップに於いては安易ではありません。エレキギターの黎明期には原始的で非能率的、時間とコストでは不利な直流式の着磁機が用いられていました。ところがエレキギターが一般化するのと同時期に着磁機の主流はパルス式に変わっていきまして、一瞬で着磁を終了できるこの方式はやがてほとんどのファクトリーで主役となってしまいました。確かに製造コストの軽減には大きく貢献したパルス式ですがどうしても均一な磁束密度をもたせるには旧式の直流式に二歩も三歩も譲らざるを得ません。K&Tではカスタムメイドの直流式着磁機をオーダーで特注し、時間やコストをかけた着磁を施しています。昔の低い1、2そして5、6弦の感度を他の製品と比較していただければ決して誇張でないことが理解していただけます。加えて、完璧を期すために形状のフラットな裏面からの着磁を施します。磁極に関して50年代モデルのキャラクター形成に大きく関係する異方アルニコの特性を生かしたN極トップを採用しています。



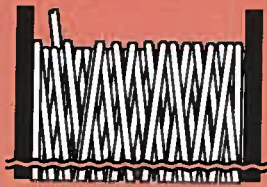
## Carved Bobbin

STやTLのようにヴァルカンファイバーをボビンに用いたシングルコイルピックアップは、windされたコイルのテンションにより徐々に変形をします。当然コイルもボビンの動きによる形状を変化させてしまいます。結果、上下方向に均質でなくスペースを拡大するのです。これによりピックアップのキャパシタンスが変化し、その経年変化はヴィンテージトーン形成の一因となっています。K&Tではwind以前にボビンの切削により、経年変化後のコイル形状に内部加工を施しています。豊かな低音域はここから生まれています。無論これ以上の変形を防ぐためにボビンの固化をヴィンテージ同様のラッカーにより行っています。

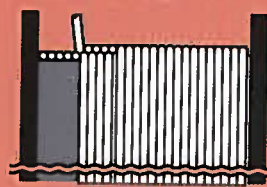
## DC Resistance

高出力、高感度を謳った製品の多数が安易にこれを増大し、理論値では大きくともアンサンブルに埋もれやすい、いわゆる「抜けない」サウンドとなっています。K&Tでは綿密な計算と膨大な資料の照合によりいたずらにこれを増大させず、磁力との絶妙なバランスを以て「聴こえがいいのに痛くない」トーンを得る事に成功しました。無駄にコイルを巻かない分、ノイズも比例して減衰しています。是非、店頭で比較して下さい。

## クロスポイント巻



## 平行巻



# TELECASTER & OTHERS

## THE '49



最初期のテリーは現在のものより磁束密度がやや低くマイクドな中低域を特徴とするALNICO3を使用していました。コイルには既存のものより1ランク線径の細いAWG43のエナメルワイヤーを使用しておりました。ただこの素材をそのまま組上げるだけではあのフロードキャスターサウンドは得られません。中低域重視だからこそ含有高域やハーモニクスを失うことの無いよう多くのクロスポイント(コイルの交互部)を持たねばなりません。

線糸はオリジナル同様白色のものを巻きつけ、その後手作業にて染色されています。コイル巻き付け前のホビニ切削加工は数個の'49年製をサンプリングし完全手作業で行われています。加えて高域を押さえ込まない特殊ワックスのポッティング、磁界コントロールのためのラッカーディッピングはかかすことはできません。

## THE '51



再現不可能といわれていた'50年代のテリーサウンドを世界で初めて鉄解に復元したTHE'51はシンプル&ベーシックなテリーを震撼させた'51年だけの特別なスペックに奪われて厳密に組込まれています。発売当初には現行よりも一段細いコイルを採用し長い歴史の中でも最大クラスの直流抵抗値を持ってはいたのですが、まだマグネットが磁束密度の低いものでした。'51年にマグネットとコイルに変更が行われました。AWG43からAWG42へ、そしてALNICO3からALNICO5へと大幅に仕様が変わりました。

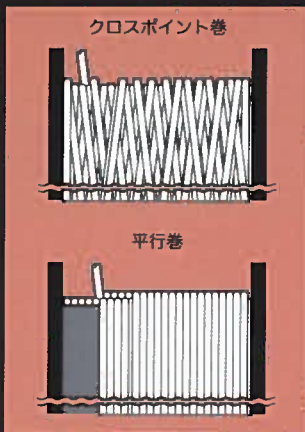
K&Tが目をつけたのは仕様変更の過渡期に少量だけ存在する細いコイル&高磁束マグネットのもので、最大級のアウトプットレベルと歯切れ、そして独特のグランド感と高いマイクロフィードバックマージン(ハウリングを起しにくい事)が大きな特徴となっています。ラッカーディッピングや特殊ワックスでのポッティングなど、細部に'51年当時の特徴が息づいています。

「Terryのリアーは硬いだけでハウリやすいし…」との先入観には当てはまりません。トゥングと言う形容が納得いただけるだけの特麗なTHE'51だけが持つ孤高のキャラクターです。

## THE '52



テリーピックアップの基本仕様がようやく固まった1952年のスペックは、ハワフルなALNICO5にフライトなAWG42をコンバインさせたものになりました。ストラトとは一線を隔てたシングルディップのエナメルコートワイヤーはこのキャラクターを一層際立たせています。当時のアンフが持つトーンキャラクターにマッチさせてプロデュースされた'52型はこれ以降よりもハワフルで、これ以前よりパンチのあるサウンドとなっています。コイルのクロスポイントはきわめて多く設けられています。ワックスポッティング、ラッカーディッピングも'49や'51同様丹念に施されています。マイクロフィードバックには万全策を注ぎ込んでいますから「ラウドで静か(?)」と言う相反する2事項を両立させたロック、ソウル、ブルースなどのバンドア



DC Resistance

高出力、高感度を備った製品の多数が安易にこれを増大し、理論値では大きくともアンサンプルに埋もれやすい、いわゆる「抜けない」サウンドとなっています。K&Tでは綿密な計算と膨大な資料の照合によりいたすらこれを増大させず、磁気との絶妙なバランスを以て「聴こえがいに痛くない」トーンを得る事に成功しました。無駄にコイルを巻かない分、ノイズも比例して激減しています。是非、店頭で比較して下さい。

## THE '59



各アルバムハイライトシーンとなる名演に必ず登場していたヘイズのあの重厚なサウンド。多くのファンの方々のリクエストから7ヶ月、数種現存在する'59年型TL-PUの中より最も近似値と想われる個体をピックアップ。仕様はこれで決定されました。さらにK&Tではこの'59年型TLをSUPROアンフにプラグイン、リサーチをくりがえし、あの音同様の音に辿り着くまで完全手巻の数多くの試作品を経た結果、【ZOSO】の登場となりました。

本来非力と言われるフロントにはウィンテージエナメルコイルを'59年製でも最もワウンドの多い仕様を選択。さらに数回のラッカーディッピングとワックスポッティングで近年のものよりハウリングマージンが高く、高い出力レベルを獲得しています。

リアーは最高の出力を持つ'50-'51年型よりわずかに出力を控えたやはり'59年型。控えた、とは言うてもそれ以降に比較するとかなり高出力なピックアップとなっています。SUPROのような感度の高い真空管小型アンフによる厚みのあるデイスレーションサウンドにはもっともマッチするレベル。米国製の中でも被膜の厚いエナメルコイルを使用、裏側のプレートとの密着を高めているのでこちらも高いハウリングマージンを特徴としています。

## ZOSO



なお、ZOSOと'59の仕様はほぼ同様ですが、ZOSOは'59に比べやや出力の高い個体をサンプリング、シミュレートしています。

## Super Bad



シングルコイルピックアップと言ってもそれはサウンドキャラクターを一口に言い表す事は出来ません。STやTLに見られるそれと、構造もコストもして何よりトーンが異なるP-90はハムバックングPU同等の太さに加え、エッチイな輪郭と歯切れを持つ愛用者の絶えないピックアップです。多くのハイオニア達がかかって使用したこのピックアップは、他の幾つものピックアップ同様製造サイドの単産計画に翻弄され、徐々にその個性豊かなキャラクターを磨いていってしまいました。

K&Tではこの隠れた銘器の復活を目指し、'50年代製の古い個体を数多く収集し計測するところから作業を開始しました。PAF同様の手間のかかるフィンディングや特殊なセッティングによる個性的な表面境界など、沢山の課題を一つ一つクリアし、結果的に'58年後期型をフロントに。そして'59年中期型をリアーに採用したのがSuper Badです。P-90が併せ持つ「太さと歯切れ」をベストなバランスで得るための仕様なのは、両ポジションに使用するコイル(フレンエナメルAWG42は同様、ブランドが異なる)をも変えると言う細部に渡っての工夫なのです。

例えPAFを以ってしても得難いアーシーなSuper Badのシングルコイルサウンドは良質なソリッドマホゴニーとのカップリングで'50年代を呼び出す事を可能にしています。

## HOT PLATE



従来のハムバッカーが持つ高域特性を可能な限り向上させる為に設計されたのがスモールハムバッカーでした。実際には標準サイズのハムバッカーよりもはるかにコストアップしてしまう(二枚のアルニコマグネット)をダイレクトにポールピースとして採用した革新的なピックアップでした。

必要以上の高出力を求められた'60年代後半にはほとんど姿を消してしまっこのスモールハムバッカーがリイッシュされた'70年代からかつての艶やかなキャラクターは時代に迎合した高出力化した(従来のより細いコイルに変更)抜けの劣化した中途半端なキャラクターと化し、以来真実のスモールハムバッカートーンは市販されていへませんでした。



# Basses



## J-60

発表直後のJBはそれ以降よりもかなり高いアウトプットレベルを持っていました。それまで、そしてそれ以降もレオが使用していない特殊なエナメル被覆コイルを使用し、初期のスタックコントロールによる出力の損失を充分補えるパワーを特徴としています。ほんの短期間この使用でしたが他モデルとの棲み分けのためか、ヘヴィフォームを用いた2期型(JIGが該当します)に変更されてしまい2度とこの仕様での復活はありませんでした。K&TのJ-60はこの特殊モデルの完全複製を成し遂げたピックアップです。通常の3コントロールで使用した際にはたとえリアーのみ使用でも他の追従を許さない重低音が大きな特徴となっています。特殊なダブルディッピングや、クロスポイントを徹底管理したフィンディングにより高周波音の再現性も真似る事すら困難な、オリジナルとJ-60だけが持つヴィンテージトーンで既に多くの支持を集めています。



## J-64

発表以来溢れるような低音域をそのキャラクターとしていたJBでしたが、既存の機種(PB)との棲み分けの為に徐々にクリスピーでタイトなトーンへとキャラクターを変貌させていきました。'64年には従来と異なる絶縁方法や線材、そしてコイル固化法の大幅な変更を施されました。

皮膜が薄いエナメル被覆コイルとソリッドなコイル固化、そして効率的な高い絶縁材が産み出したのは中高域から高域にかけての特殊なレスポンスでした。基本的には'64年から'70年代中期までのJBサウンドはこの構造が要因となっています。

周囲の楽器に埋もれる事のない「通りの良さ」は、スラップからフィンガー、そしてピックによるプレイのいずれにも主張の強い「通る音」を約束します。

Hand Grind Beveled Edge

エレクティックギターが弦振動を電気信号に変換する役目を持つのがピックアップである事は既に周知の事実となっていますが、サウンドの音色や感度を決定する倍音と、ピックアップが設置されたマグネットがもたらす磁界については従来ほとんど言及されておられませんでした。デリケートで微細な倍音の特徴である、極めて狭い帯域を完璧にレシーフできる複雑な磁力線の放出パターンはヴィンテージトーンを得る上で最大の重要要素だったのです。磁力線はマグネットの材質が等しければその放出パターンがどれも等しいと思われがちですが、マグネットの性質とは形成されたエッジ部に本来の磁力線が発生しており平坦な形状からは平坦で大雑な磁力線しか放出できません。ヴィンテージを詳しく観察すればピックアップ表面に露出したポールピースのエッジが比較的粗めな切削により歪取りされているのに気付くはずで、これには二つの理由があります。バルカンファイバー製のボビンにポールピースをインサートする際作業を容易にするため、そしてここからが重要ですが単調になりやすいエレキギターのサウンドキャラクターにあたかも高級アコースティックギターのような粒子の細かい倍音を付加させ



## JIG

'61年オリジナルJBのピックアップ工法を K&T は世界で初めて踏襲し、独自のバリアブルテンションテクノロジーにてかつて得られなかったスラップ奏法における瞬時のレスポンス、2フィンガー奏法における粘りとローレンジ。

この相反する二項目を完璧に両立した完全手巻ピックアップです。

JB 人気の代表的アーティストであるジャコブジョーンズも、元々は「スタック・ポット」と呼ばれる初期モデルを購入しています。これには特殊な部品である2連ポットが装着されていました。

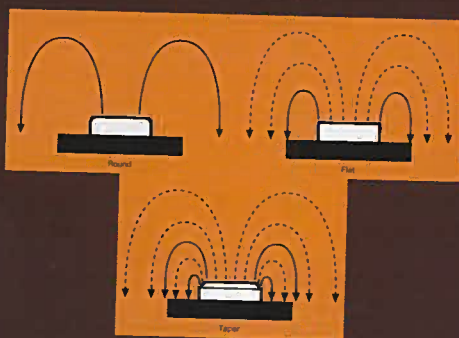
しかしオリジナルモデルではこのシステムに信号と直列に抵抗がセッティングされており、パワーが一段低下するのでこれを補う為にピックアップの出力をかなり高くしていました。

ところがこのベーシスト達は操作上の理由から、ポピュラーな3コントロールに後に改造したのです。3コントロールには抵抗は存在しませんので、結果この二人のサウンドは一般のJBに比べてかなり太くて大きなサウンドになっています。

現在複製されているスタックポットモデルには抵抗はなく、ピックアップの出力は他モデル同等なため、コントロールを交換しても彼らのようにハワフルなサウンドは望まず「失われたトーン」となっています。



## J-63 NEW PRODUCTS



るためだったのです。この加工が施されたポールピースからは倍加したエッジによるポイントの増加で複雑な磁界を構成するのです。ただし漏れが抑制されているというだけではヴィンテージのような煌きを得ることができません。面取りの幅、角度そして切削工具の粒子までもが決定のファクターなのです。機械によるスムーズな面取り加工ではインサート時のメリットしか得られません。



## PB

POWER BOMB

JBに比べ、そのマウントポジションの関係からより多くの情報量が引き出せるはずのPBピックアップでしたが、ハムキャンセル構造のウィークポイントでもある位相問題から生じる高域と低域の物足りなさや、現存する多くのリプレイメントPBピックアップに起こっている問題でした。現代のものとは比べた時、ヴィンテージピックアップは使用するアンプによって様々なトーンを引き出せるある種の魔法を持っていると言えます。MOTOWN系のフラットなPB、OLD ROCKのパンチのあるボトム、DUBBASSの地を這う様な重低音...その全てを表現できるピックアップの登場です。



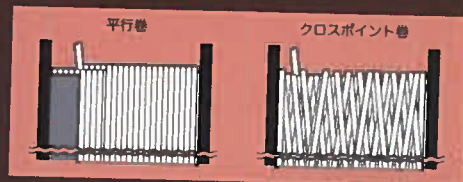
## P-52 OPB

史上初のエレクティックベースの登場はセンセーショナルでした。考えに考え抜かれた種々のアイデアにより狭く間に市民権を得た「エレクティックベース」が後の音楽シーンを一変させた事に異論を称える者など存在しないでしょう。

しかし天才がデザインしたこの楽器はあまりにも先を歩んでいました。太さと鋭さ、それにパワーが溢れていたのが災いしました。そう、このベースをレシーフ出来るアンプはまだ登場していませんでした。やむを得ない仕様変更がもたらしたサウンドも素晴らしいものではあったのですが、初期型が持つ特徴的なベースサウンドを求めるとベーシスト達は後を絶ちません。

近年のリイシューブームのせいか良く似た形状のモデルも見掛けはしますがサンプルとなるオリジナルから最も距離があったのがピックアップでした。オリジナルの持つキャラクターは外見のみ、やせて貧弱なサウンドのコピーモデルに落魄した人は少なくありません。

K&Tのニューモデル、P-51は'52年後期型をシミュレートしています。シンプルな構造だけに工作技術や素材が問われるこのモデルを徹底検証によりリログラフしています。このモデル用に選り抜かれたエナメルワイヤーやワウンド前のラッカーディッピング、ワックスによるポッピングや最終のディッピングが産み出すパワー、現代のタフなアンプにフラグインしてそのパワーと並立した繊細さを確認してください。



DC Resistance

高出力、高感度を備った製品の多数が安易にこれを増大し、理論値では大きくともアンサンプルに埋もれやすい、いわゆる「抜けにくい」サウンドとなっています。K&T では綿密な計算と膨大な資料の照合によりいたずらにこれを増大させず、磁力との絶妙なバランスを以て「聴こえが良いのには痛くない」トーンを得る事に成功しました。無駄にコイルを巻かない分、ノイズも比例して激減しています。是非、店舗で比較して下さい。

[http://music.geocities.jp/kt\\_vintage\\_guitars/index.html](http://music.geocities.jp/kt_vintage_guitars/index.html)



「ヴィンテージ・ピックアップを再現するということは、  
“いかにして経年変化を的確に再現するか”ということです」

# 高野 K & T 順 MODERN VINTAGE GUITARS

2年ほど前から、“K&T”というハンド・ワインディング・ピックアップが一部のヴィンテージ・ファンを中心に話題を呼んでいる。1980年代以降、ギブソン、フェンダーを中心とする大手ギター・メーカーでは、50～60年代にかけて自らが生み出したギターベースがヴィンテージ・ギターとして人気を博していることで、それらのリイシュー・モデルの製作に力を注いできた。また、60～70年代のロック・ギタリスト達が生み出したギター・トーンは、今日もロック・ミュージックの中心的なサウンドとして広く支持されている。様々なギター・メーカーやリプレイメント・パーツ・メーカーでヴィンテージ・スタイルのピックアップを製作している中、K&Tピックアップがヴィンテージ・ギターのオーナーやコレクターなどに支持されるのは、彼らが使っているギターと“同じテイストを感じさせる”からに他ならない。

K&Tピックアップを製作している高野順氏は、ギタリストなどの経験を経た後、79年から吉祥寺で“ヴィンテージ・ギタース”というヴィンテージ楽器とリペアの専門ショップを運営してきた。また、ヴィンテージ・ギターに関する豊富な知識と技術を買われて、大手ギター・メーカーのヴィンテージ・モデルの開発やヴィンテージ楽器に関する書籍の執筆／監修なども行っている。今回は、高野氏自身にK&Tピックアップ、ヴィンテージ・トーンなどについて語ってもらった。

○  
一般的なピックアップとハンド・ワウンド・ピックアップとは、何が異なりますか？

ピックアップの特性は、マグネットとコイルの種類が基本的な要素としてありますが、コイルの巻き方も大きく関係しています。ハンド・ワウンドの場合、コイルの巻き方などに関してかなり細かい配慮ができます。一般的なマシン・ワウンドの場合、テンションや送り（ボビンの幅に合わせて巻くコイル位置を移動していくこと）といったコイルの巻き方は、1つのピックアップ内では一定です。それに対してハンド・ワウンドは、1つのピックアップ内でコイルを平行に巻いたりクロスさせたり、テンションを変えたりなど自由に行えます。極端なことを言えば、1つだけの仕様のピックアップが作れるほど自由度が高いです。最終的にその違いは音に表れてきますが、それはプレイヤー自身が判断することになります。

現在ヴィンテージと呼ばれるピックアップが製造されていた当時、メーカーは全ての条件を把握していたわけではないですよね？

フェンダーは最初からボビンを変形させて作っていたわけではないですが、経年変化でボビンが反ることによって、インダクタンス

（電氣的な性質）が変化して音の特徴の一部ができる。またギブソン・ハムバッカーは、断線防止のためにスクエア・ウィンドウからリード線が引き出されている。ところがこれによってコイルに段差が生まれ、2次的なキャラクターを作っているわけです。これらは偶然の産物ですね。

それらを再現するには、実際にヴィンテージ・ピックアップのどの部分がどうなることでその特徴が生まれるかを、とことん分析する必要がありますね。

ヴィンテージ・ピックアップの研究は、店のスタート時（70年代末）から行っています。ヴィンテージ・ピックアップの断線修理があり、数10年間にわたってトライ・アンド・エラーで色々なデータを蓄積してきました。

1個のピックアップ・コイルを巻くのに、どのくらいの時間をかけていますか？

1個のハムバッカー・ボビンを巻く時間は、だいたい15～20分くらいかな。巻いているボビンをじっくりと目視しながらやるのが重要です。まず断線防止の意味も含めて、非常に緩いテンションで巻き始めます。その後機種や部分に応じて、密度（テンション、送り、コイル同士の交差のさせ方）と巻くスピードを合わせて、5～7パターンの中から幾つかのパターンを1つのピックアップの中に織り交ぜていくわけです。テンションが強くと巻いてあるところは、わずかにコイルが伸びて細くなる。その力加減によっても、トーンが変化します。テンションをかけて巻けば音は太く、緩く巻けばシャープになりますね。

しかし、当時のギブソンでは何種類ものパターンでピックアップを巻いていたわけではないですよね？

ええ、しかし実際に古いボビンを切ってその断面を見ると、内部のコイル密度やパターンが一定でないことが分かります。それらは、経年変化によるボビンの変形により、内部では複雑に密度が変化しているからです。さらに、年代によってもパターンやターン数は細かく変化しています。各年代の古いピックアップをリワウンドする際に、カウンターに取り付けて、ゆっくりとほどこきながらその特徴を書き出していくわけです。それらは、驚くほどバリエーションに富んでいます。また、一般的に語られていることと一致しない部分も多いです。ヴィンテージ・ピックアップを再現するという事は、“いかにして経年変化を的確に再現するか”ということが重要です。コイル・ターン数に加えて、様々な要因を考えています。

古いコイルを使用するモデルもあるようですが、新しいコイルとの違いは？

ピックアップ・コイルは銅で作られていますが、単に不純物の割合だけではなく、コイ



ル自体に特徴があります。被膜（コイルの外側に塗布された絶縁体）の種類や厚みによってもトーンに影響するので、古いコイルと新しいコイルとでは、同じ巻き方でもトーンのニュアンスは異なってきます。

マグネットについて伺います。磁力が落ちることが、ヴィンテージ・ピックアップ・トーンを決める一要因だと言われていますが…

ヴィンテージ・ピックアップに使用されているアルニコ・マグネットは、作られた当時から現在に至るまで、ゆっくりと磁力が下がっています。また、それはヴィンテージ・トーンを形成する重要なファクターでもあります。経年変化による減磁量は、マグネットやピックアップの構造、ピックアップの使われ方によっても大きく異なります。

着磁の強さを自由に変化させられる、特別な着磁機をオーダー製作したそうですね。

一般的な交流式の着磁機では、構造上飽和着磁（その磁石が着磁できる限界）しかできません。特別な直流式の着磁機を磁気機器メーカーに相談して製作してもらいました。これだと、着磁する際の電流量と時間をコントロールすることで、様々な減磁した状態のマグネットを作り出すことができます。しかし、一旦フル着磁した後に再び磁力を落としていくので、かなり手間がかかります。

では、製作できるピックアップの数は限られてきますね。

K&Tは、ハンド・ワインディングはもちろん、全ての工程を私1人で行っているのです。せいぜい月産40～50セットが限界です。ピックアップの経年変化をリアルに再現するには、様々な要因を考えることが必要で、それはこれまで培ってきた長い経験があつてのことです。コイル、巻き方、マグネットの組み合わせには、無限のバリエーションがあります。例えば、60年代に聞かれたロック・トーンなら、古めのコイルに元気のあるマグネットの組み合わせが良いでしょう。これらは、どれもヴィンテージ・トーンのバリエーションの中にあるわけです。もちろんそこから先は、プレイヤー自身の好みの問題ですけどね。

## ハンドメイドによる製作工程

K&T ピックアップを構成している部品は、国内外から個々に厳選された素材が集められている。また、専用に作られた部品や手作業によって再加工が施されるものも少なくない。一般的なピックアップの場合、電動モーターにボビンを取り付けて回転させ、コイル・ワイヤーを巻き付ける。しかしK&Tでは、自作の手動ワインディング・マシンを使い、完全な手作業によってそれを行っている。経年変化によってボビン内のコイル・テンションが不均一になっている状態を再現するために、コイルを巻く際のテンション、コイルの送り等のパターンを様々に変化させながらゆっくりコイルを巻いていく。マグネットを着磁する際には、経年変化によって減磁された磁力を再現するために独自にデザインされた着磁器を使い、作業を行っている。もちろんピックアップを組み立てる際にも、固有のセットアップ・スタイルが要求される。そういった一連の作業全てが、ヴィンテージ・ピックアップに精通した高野順氏自身の手によって丁寧に行われている。ここでは、その製作工程の一部を紹介し、K&T ピックアップがどのようにハンドメイドされているかを見ていこう。



K&T 製品の一部。ハンドメイド・ピックアップの利点を活かして、様々なスタイルのピックアップが開発・製作されている。一般的なモデルに加えて、ファイアーバード用のPU-720やグレッチ・ダイナソニック・タイプのピックアップなども試作されている。



ピックアップを製作するために、膨大な数のヴィンテージ・ピックアップからデータが集められた。写真はレスポール・カスタムのフロントに使用されるギブソン PU-480やP-90、様々なPAFのバリエーション等。奥のカバーPAFはバードランド用のナロー・ピッチ。



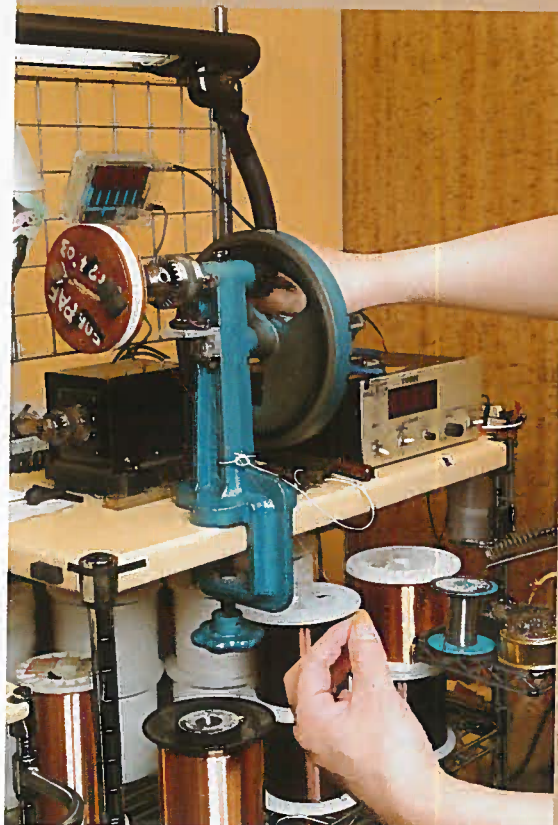
高野氏自らのアイデアを元に、特別に製作された直流型着磁器。2つの大型コイル（黒い部分）に大量の電流を通すことで強力な磁界を発生させる。電源部分は別があり、電流量と時間を可変させることで、マグネットに対する着磁量を自由にコントロールできる。



2つの大型コイルの間に、マグネットをセットして（写真はシングルコイル・ボビン）着磁している工程。数10秒で飽和量まで着磁する。全てのマグネットは、狙った磁力になるまで着磁。測定が繰り返される。



多くのコイル・ワイヤーは、アメリカ製。ピックアップには、AWG#42ゲージ（芯線の直径が0.0635ミリ）が使用されることが多い。被服には様々な種類があり、それによって特有のトーン・ニュアンスを生み出す。モデルによってはヴィンテージ・コイルも使用する。



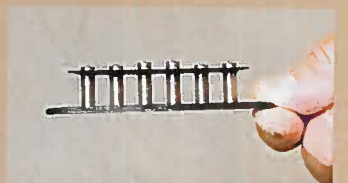
ハンド・ワインディングによってコイルを巻いているところ。右手で持つハンドルの回転が、左側のドリル・チャックに取り付けられたボビン（PAFと書かれた円形ホルダーの中にセットされている）に伝わる。左指で下側からくるコイルを挟み、回転するボビンに巻き取っていく。写真上側にあるのがカウンター。後ろ側には、モーターを使用した一般的なワインディング・マシンも用意されている。



ボールピースのエッジ部分にヴィンテージ・ピックアップ特有の面取り加工を施している。その形状は年代によって異なり、それによって発生する磁界も変化する。



経年変化によって変形したストラトキャスター用のボビンを再現するための加工。ボビンの内側からルーターやヤスリを使って削り込むことで、反って変形したボビン形状を任意に作り出す。



加工が終わったシングルコイル・ボビン。薄いファイバーから作られたボビンの上側部分が、コイルのテンションによって、外側へと反って変形してきた様子が再現されている。この加工によって、巻かれるコイルの縦横比が微妙に変化する。

## 代表モデル紹介

問い合わせ：KT GUITAR RESEARCH  
[http://music.geocities.jp/kt\\_vintage\\_guitars/](http://music.geocities.jp/kt_vintage_guitars/)

## TOPS

価格：128,000円(フロント/リア 税込)

ギブソンのセス・ラバーによって開発されたハムバッキング・ピックアップは、1957年からギブソン・ギターに組み込まれるようになった。その中でも、60年以前に製造された“PAF”(ピックアップ底面に貼られた“PATENT APPLIED FOR”と記された黒いデカルからこの呼び名が付いた)と呼ばれるモデルは、ヴィンテージ・ピックアップの中でも特に人気が高く、様々な伝説を生み出してきた。

ハムバッキング・ピックアップを開発したセス・ラバーは、生前「全てのハムバッカーは同じ仕様に基づいて製造されている」と発言していた。しかし、厳密に言うところ製造された時期などによって、そのスペックは微妙に異なることが知られている。特に59~60年にかけて製造されたPAFのポビンには、ブラック(BB)、ゼブラ(ZB)、ダブル・ホワイト(WW)という3バージョンが混在している。そしてこの時期のピックアップ・データを集積すると、驚くべき特徴が隠されていたことに気づく。ホワイト・ポビンのピックアップは、コイル・ターン数がブラック・ポビンよりも明らかに多いのである。つまり、この時期に製造されたハムバッカーには、ブラック/ゼブラ/ダブル・ホワイトという3種類の出力の異なるバリエーションがあったことになる。さらに興味深いのは、ブラックとゼブラ・ポビンはレスポール・スタンダード等の一般的なエレクトリック・ギターに使用され、ダブル・ホワイト・ポビンはES-345、ES-355といった高級モデル、つまりバリトーン/エポニー・フィンガーボード仕様のモデルに使用されていることが多い。セミ・アコースティック・ギターに組み込まれるバリトーンは、本来のハムバッキング・トーンから様々な周波数をカットすることでトーン・バリエーションを作り出している。言い換えれば、元のトーンに対して“音痩せしたバリエーション”を作り出すコントロールと言え

る。それ故、よりファットでパワーのあるダブル・ホワイトが用意されたのではないだろうか？

50年代末~60年代初頭にかけて生産されたギブソン・ピックアップは、どのモデルにもギブソンならではの特徴が見てとれる。PU-490(ハムバッカー)やP-90に使用されているのは、AWG#42ゲージのエナメル線。外側の被服はシングル・ディップ(1回のコーティング)であるため薄く、同じゲージのフェンダーと比べて細く(柔らかく)感じられる。ポビンに巻く際のテンションがかなり弱いのも特徴で、ワイヤーは適度にクロスしている(※注)。コイル外側には保護のために紙テープが巻かれているが、パラフィン等を含浸させるポティング処理は行われていない。それはハウリやすくする反面、高い倍音を生み出すことになる。出荷時にはジャーマン・シルバー製のカバーが取り付けられ、メロウで艶っぽい方向へとトーンを変化させている。

(※注：ピックアップ・ポビンに対してコイルを平行に巻いていくと、コイル自体にキャパシタンスが発生し、わずかながら高音域が落ちてくる。それ故コイルをある程度交差させるクロス・ポイント巻きにした方が高音域は豊かになる。ヴィンテージの場合は、クロスしている割合が多い傾向にあり、それがヴィンテージ・トーンの一因にもなっている)

ギブソン・マグネットはポビンの下側に設置されており、両極面はアジャスタブル・ポールピース・ホルダーやノンアジャスタブル・ポールピース側のスラグが直接接触している。磁性体から作られたこれらのパーツが長年にわたってマグネットに接触し、磁力を逃がすことによりマグネット磁力は減磁しやすくなる。中には、本来のアルニコVの飽和磁力から数10%も減磁しているピックアップも見受けられる。

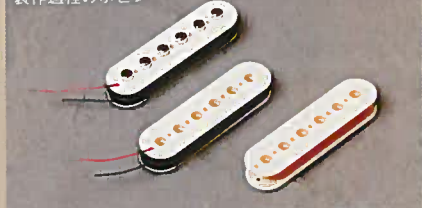
TOPSシリーズは、59~60年にかけて製造



されたPAF ハムバッカーの中でも、ややコイル・ターン数が多い、ホット寄りのモデルをレプリカしたピックアップである。ピックアップには上記のとおり、ギブソンに倣ってブラック/ゼブラ/ダブル・ホワイトという3種類のパワー・バリエーションが用意されている。製作者である高野氏は「レスポールのようにトラディショナルなギターには、フロント/リアの各ポジションに、ブラック/ゼブラ、ゼブラ/ダブル・ホワイトという組み合わせがお勧めです」と語る。豊かな倍音構成を作り出すために、敢えてポティング作業は施されていない。全ての製作工程は高野氏1人の手作業によって行われる。

レギュラーのTOPSは上記の3パターンが用意されているが、さらにこれらに後述するオプションも用意されている。各モデルに60年代に製造されたヴィンテージ・コイルを使用したN.O.S.(ニュー・オールド・ストック)バージョン、そしてアルニコVマグネットを減磁させたエイジド・マグネット・モデル、さらに両方が採用されたスペシャル・モデルが用意されている。つまり、TOPSには合計12種類ものバリエーション・モデルが存在する。

製作過程のポビン



Kareji Miura



## COMMENT

## いまみち ともたか

「シンプルなフレーズを弾いても  
 信じられないくらいトーンがサマになる」

K&Tピックアップのサウンドに魅せられたギタリストの中には、プロギタリストも少なくない。昨年デビュー25周年を迎え、ライブDVD『葡萄缶 BARBEE BOYS '10』をリリースしたばかりのバービーボーイズのギタリスト、いまみちともたかもそんなギタリストの1人だ。近年幅広く愛用しているという、K&Tピックアップについて語ってもらった。

10代の頃から世話になっていた高野さんに、今から15年くらい前かな、「高野さんはオリジナル・ギター作んの？」と尋ねただけど、そしたら「作るならピックアップだな」と返されてね、それが凄く印象に残ってた。で、昨年このWEBで見つけたあるギターに惹かれてフーチーズに行って試奏したら、めちゃ良い音が出て。その時お店の吉岡さんから「これに載せたピックアップは高野さんの手書きで、“K&T”で言うんですよ」と聞かされたのが運命の出会

い。

載せ換えるとよくわかるんだけど、シンプルなフレーズを弾いても信じられないくらいトーンがサマになる、ひとつ格が上の音になるような感じ？ 大当たりなヴィンテージ・ギター鳴らすと“楽器を弾く”から“楽器に弾かされている”になったかのようにズに乗れるトーンが出てくるけどさ、K&Tでもそれを体験できるんで、どっぷりハマった。

いまは、お気に入りのギター4本にそれぞれタイプの違うK&Tピックアップを載せていて、まずCRYこいつはオールマイティ！ オースチンレジェンドは、シャープなのにタフでブルージーなトーン。テリー'49は、こんなに素敵で艶のあるシングルコイル・ピックアップがあるとは思わなかったってぐらいヌードなトーン。ドミノは、ハイの鈴鳴り感と中低音域のコシが相当気持ち良いので鈴鳴り感を強調する為に、あえて細い弦を張ってピンピン言わせてる。



## CRY

価格:98,000円(フロント/センター/リア 税込)

レオ・フェンダーによって1954年に生み出されたストラトキャスターは、現在もギブソン・レスポールと並ぶソリッド・エレクトリック・ギターの主軸モデルとして広く親しまれている。またストラトキャスターは、3ピックアップ・スタイルを成功させた最初のモデルでもある。同じピックアップを幅広い機種にマウントするギブソンとは異なり、フェンダーはボディとネックの構造がある程度限定された中でギターがデザインされている代わりに、各モデルごとにそのギターのキャラクターを決定づけるような様々な専用ピックアップを開発した。テレキャスターに続いて開発されたストラトキャスターは、同じシングルコイル・ピックアップが3個マウントされているが、それぞれのマウント・ポジションを工夫することで、明確な3つのキャラクターを生み出すことに成功した。特にスラントセッティングを取り付けることで、6弦から1弦に向かって徐々にトレブリーに変化していくリア・ピックアップは、フェンダー・トーンを象徴するものと言える。

6個のアルニコ・マグネットを直接ポールピースとして使用し、2枚のファイバー紙の間に挟み込んだボビンから作られたピックアップは、シンプルながら各モデルごとに様々なトーン・バリエーションを作り出す。テレキャスターのリア・ピックアップをベースとしてデザインされたストラトキャスターでは、コイル、ボビンの縦横比等(※注)はフェンダーの標準と言える。

(※注:同じターン数のコイルから作られたピックアップでも、コイルの縦横比によって、そのトーンは異なってくる。立体的でトレブリーなストラトキャスターに対して、横に幅広いジャズマスターのトーンがメロウであることを考えると分かりやすいだろう)

ポールピースは通常アルニコVが使用されるが、それ自体が他のポールピースや磁性体

に直接接しないようにデザインされている点も特徴となる。レオ・フェンダーは、時間経過と共にマグネット磁力が減磁しにくいように工夫し

た結果、ヴィンテージ・フェンダーの平均的な減磁量は10%未満となり、現在でも製造当時とほぼ変わらない磁力を保っているものも見受けられる。またポールピースの先端部分は手作業によって面取り加工されている。角を落とすように面取り加工することで、ポールピース・エッジ部分から発生する磁界は複雑なものとなり、ピックアップ・トーンに影響する。そしてその形状は年代によって異なる。コイルを巻く前に、ボビンは絶縁のためにラッカーにディッピングされる。高野氏の説明によれば、この時使用されるクリア・ラッカーには酸化鉄が多く含まれており、それが磁界にも影響しているという。54年の登場から63年までのピックアップには、ヘヴィ・ホームバー・コイルが使用されている。これはAWG#42ゲージだが、外側がホームバー(ポリビニル樹脂)によって絶縁されている。これがエナメル等よりもわずかに厚いため、コイルはやや固くなり、トータルのコイル・サイズも少し太めになるのが特徴である。また、コイルはやや強めのテンションで数多く交差させながら巻かれている傾向にある。ワインディングが終わったピックアップは、専用ワックスによってポッティング処理が施される。これによりハウリングが抑えられると同時に、やや重たいトーンへとキャラクターが推移する。ギブソン・ピックアップはノイズの少ないシールド線が取り付けられているのに対して、フェンダーはブラックやホワイトのAWG#22ゲージのクロス線が



取り付けられている。高音域の減衰を極力防ごうとするデザイン・スタイルが、こんなところにも貫かれている。

54年に発売された当初のストラトキャスター・ピックアップは、ブラックガード時代のテレキャスター同様に磁力の弱い特殊なアルニコ・マグネットが使用されている。また、54~55年初頭の製品は、3弦ポールピースが後年よりも低くなっており、トータルの磁界バランスも異なっている。56年に典型的な50年代スタイルのピックアップとなるが、その後も各年代によってターン数、バランスに特徴が見られる。

CRYは、この時期のストラトキャスター・ピックアップをリアルに再現した製品である。使いやすさと出力バランスを考慮し、フロントが58年型、ミドルが61年型、そしてリアには出力の最も高い59年型のピックアップが組み合わされている。また、3つのピックアップはどれもトップがN極にセットされている。それについて高野氏は、「ミドル・ポジションを逆着磁にすることでフェイズ・ポジションの際にハム・キャンセリング効果が生まれることが知られている。しかしフェイズ・トーンは、隣接したピックアップ同士の磁界が反発し合うことで、ピークの2つある特徴的なキャラクターが生み出される」と語る。61年後半にストラトキャスター・ピックアップはS極トップへと変更されるが、磁界もわずかに変化し、その結果トーンはよりファットな方向へとトーンが導かれている。

## JIG

価格:98,000円(フロント/リア 税込)

60年代前半に作られたヴィンテージ・ジャズ・ベースの中でも、トーン、パワー、テンション感等のバランスが最も優れたモデルとして人気の高い62年型のピックアップをリアルに再現したものがJIGである。

60年に発売されたフェンダー・ジャズ・ベースは、ほぼ毎年のように細かなモデルチェンジが行われてきた。発売当初のスタック・ポット・コントロール期のピックアップには、この時期固有の特殊なゲージのエナメル・コイル・ワイヤーが使用され、ラッカー塗料を使ってボビン全体をポッティングするという、特別な仕様で作られていた。その後ポッティングは他のフェンダー・ピックアップで使用されているワックスを使ったタイプとなり、さらに62年半ばにはAWG#42ゲージ

のヘヴィ・ホームバーがコイル・ワイヤーとして採用されたことで、ターン数も含めて“最もジャズ・ベースらしいヴィンテージ・トーン”として知られるピックアップが誕生した。JIGはこの時期のスペックに基づいて製作されたヴィンテージ・ピックアップである。

ジャズ・ベースで言うと、ドット・ポジションマーク、2ヴォリューム/マスター・トーンという3コントロール、スラブボードの後期から初期型のラウンドボードといった特徴を持つ時期に相当する。この時代のジャズ・ベースを好むベジスト達が多いことからも、パワフルでありながらも明瞭な音像を



備えたこの時期特有のピックアップ・トーンが如何に支持されているのかが分かるだろう。

その後、フェンダー・ジャズ・ベースのピックアップは、64年にコイルやポッティング方法等が再び変更された。K&Tでは、これらのスペックの推移や経年変化をリアルに追ったピックアップ・バリエーションも製作している。

# K&T PICKUPS

12の選択、TOPSシリーズ!

## TOPS BB / ZB / WW

¥64,000 ( for each )

*Full size open humbucker*



## AGED MAGNET TOPS BB / ZB / WW

¥69,000 ( for each )

*Full size open humbucker*



## WEEP BB / ZB / WW

¥64,000 ( for each )

*Full size open humbucker*



## GOLDTONE

¥64,000 ( for each )

*Full size open humbucker*



## N.O.S. GOLDTONE

¥79,000 ( for each )

*Full size open humbucker*



## ALT

¥90,000 ( for each )

*Full size covered humbucker*



## LA

¥79,000 ( for each )

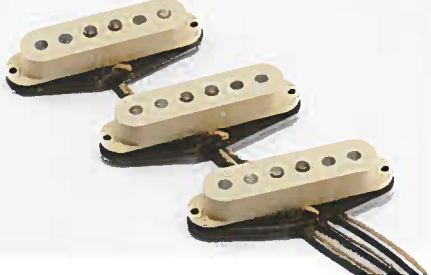
*Full size open humbucker*



## CRY

¥98,000 ( for one set )

*Single coil set for Strat*



## LOM

¥148,000 ( for one set )

*Single coil set for Strat*



**N.O.S. TOPS BB / ZB / WW**

¥79,000 ( for each )  
Full size open humbucker



**AGED MAGNET & N.O.S. TOPS BB / ZB / WW**

¥84,000 ( for each )  
Full size open humbucker



**N.O.S. WEEP BB / ZB / WW**

¥79,000 ( for each )  
Full size open humbucker



**BLOW**

¥158,000 ( for one set )  
Full size open humbucker set



**Oh Well**

¥158,000 ( for one set )  
Full size open humbucker set



**Valve Bender**

¥79,000 ( for each )  
Full size open humbucker



**Austin Legend**

¥148,000 ( for one set )  
Single coil set for Strat



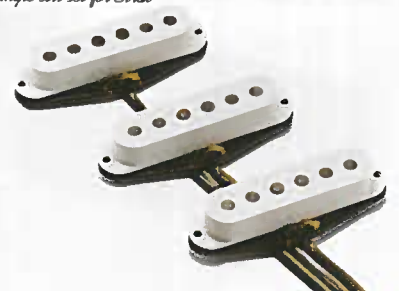
**DOMINO**

¥148,000 ( for one set )  
Single coil set for Strat



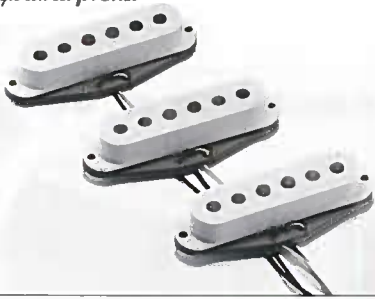
**THE '54**

¥98,000 ( for one set )  
Single coil set for Strat



### WATCHTOWER

¥98,000 ( for one set )  
Single coil set for Strat



### THE'49

¥148,000 ( for one set )  
Bridge and neck set for Tele



### THE'51

¥148,000 ( for one set )  
Bridge and neck set for Tele



### THE'52

¥148,000 ( for one set )  
Bridge and neck set for Tele



### THE'59

¥148,000 ( for one set )  
Bridge and neck set for Tele



### ZOSO

¥148,000 ( for one set )  
Bridge and neck set for Tele



### SUPERBAD

¥148,000 ( for one set )  
Soapbar single coil set



### HOTPLATE

¥148,000 ( for one set )  
Mini size humbucker set



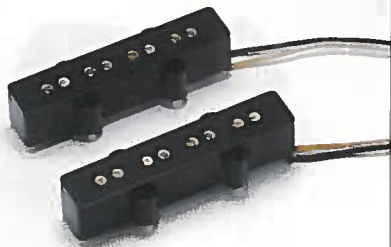
### JIG

¥98,000 ( for one set )  
Single coil set for JB



### J-60

¥158,000 ( for one set )  
Single coil set for JB



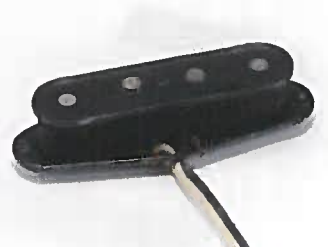
### J-64

¥98,000 ( for one set )  
Single coil set for JB



### P-52

¥58,000 ( for each )  
Single coil for PB



### POWER BOMB

¥98,000 ( for each )  
humbucker for PB



### AGED MAGNET -10 Years Aged Ver.

¥7,800 ( for each )  
For humbucker



### Humbucking Pickup Cover Unplated

¥3,990 ( for each )  
For humbucker





**K&T Modern Vintage Guitars**  
**Weeper Ver.2 with WEEP (WW / WW)**  
 ¥380,000 ( with Hardshell Case )

*Specifications* ●Body : Korina with Cell Binding ●Neck : Korina ●Fingerboard : Madagascar Rosewood, 400R ●Pickup : K&T WEEP Set (WW / WW) ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 625mm, 22F ●Machine Head : Gotoh H.A.P.M ●Bridge : Hipshot 6 String US Contour Tremolo ●Control : 1Vol, 2Tone, 3pos Switch ●Finish : Lacquer

LPタイプのネック・グリップとミディアム・スケールのコーリナ・ネックに合わせて、“Cryer”より、斜りコンパイクなボディを採用した“Weeper Ver.2”。“WEEP”の魅力を最大限に活かすことを念頭に置いたデザインにより、究極のハムバッカー・サウンドが堪能できます。ピックアップにはパワーfulなWWを2基搭載。チョーキング及びヒビブロー時に聴かせるむせび泣くような艶やかなトーンとロング・サステインは、このモデルならではのキャラクターです。無漂白無脱脂ナット、ヒップショット 6ストリング US コンター・トレモロブリッジを採用。



**Crows Maniac Sound / K&T**  
**Super Flood with CRY**  
 ¥368,000 ( with Hardshell Case )

*Specifications* ●Body : Selected One Piece Alder ●Neck : Hard Maple ●Fingerboard : Premium Jacaranda, 210R ●Pickup : K&T CRY Set (58 '61 '59) ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 648mm, 21F ●Machine Head : Gotoh SD91 ●Bridge : Gotoh GE101TS ●Control : 1Vol, 2Tone, 5pos Switch ●Finish : Cloudy Lacquer Finish

60年代スラフポート期のSTをイメージし、プレミアム・ハカランダ指板、極上1ピース・アルゲーボディを採用したトラディショナルなモデル。ピックアップは“CRY”を搭載。フロント58年タイプ、センター61年タイプ、リア59年タイプと各ポジションの絶妙なトーンと出力バランスにより、リアのパワー不足を改善し、全てのジャンルに対応できるモデルとして完成しました。最もパワーfulなリアPUは、アンサンブルの中でも埋もれることのないリード・プレイを約束します。また、トーンを最優先した極薄仕上げのクラウディーラッカー・フィニッシュは、ヴィンテージライクな深い味わいをみごとに演出します。



**K&T Modern Vintage Guitars**  
**Cryer Ver.2 with CRY**  
 ¥380,000 ( with Hardshell Case )

*Specifications* ●Body : Korina with Cell Binding ●Neck : Hard Maple ●Fingerboard : Madagascar Rosewood, 400R ●Pickup : K&T CRY Set (58 '61 '59) ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Head : Korina Top with Cell Binding ●Scale : 648mm, 21F ●Machine Head : Gotoh H.A.P.M ●Bridge : Hipshot 6 String US Contour Tremolo ●Control : 1Vol, 2Tone, 5pos Switch ●Finish : Lacquer



**Crows Maniac Sound / K&T**  
**Style '54 with THE '54**  
 ¥348,000 ( with Hardshell Case )

*Specifications* ●Body : Selected One Piece Ash ●Neck : Selected One Piece Hard Maple, 210R ●Pickup : K&T THE '54 Set ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 648mm, 21F ●Machine Head : Gotoh SD91 ●Bridge : Gotoh GE101TS ●Control : 1Vol, 2Tone, 5pos Switch ●Finish : Cloudy Lacquer Finish



**Crows Maniac Sound / K&T**  
**1956 Brown with DOMINO**  
 ¥378,000 ( with Hardshell Case )

*Specifications* ●Body : Selected One Piece Alder ●Neck : Selected One Piece Hard Maple, 210R ●Pickup : K&T DOMINO Set ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 648mm, 21F ●Machine Head : Gotoh SD91 ●Bridge : Gotoh GE101TS ●Control : 1Vol, 2Tone, 5pos Switch ●Finish : Cloudy Lacquer Finish



**Crows Maniac Sound / K&T**  
**1959 Black with DOMINO**  
 ¥378,000 ( with Hardshell Case )

*Specifications* ●Body : Selected One Piece Alder ●Neck : Selected One Piece Hard Maple, 210R ●Pickup : K&T DOMINO Set ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 648mm, 21F ●Machine Head : Gotoh SD91 ●Bridge : Gotoh GE101TS ●Control : 1Vol, 2Tone, 5pos Switch ●Finish : Cloudy Lacquer Finish

## Crows Maniac Sound / K&T 50's TL with THE '51

¥378,000 ( with Hardshell Case )

**Specifications** ●Body : Selected One Piece Ash ●Neck : Selected One Piece Hard Maple, 210R  
●Pickup : K&T THE '51 Set ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 648mm, 21F ●Machine Head : Gotoh SD91 ●Bridge : Crews OLD TE Fine tune  
●Control : 1Vol, 1Tone, 3pos Switch ●Finish : Cloudy Lacquer Finish

レオ・ファンダーが最も好んだと言われる1ピース アッシュ ボディは、野まいサウンドでありながら演奏性に優れた54mmスケールの1ピース・ハードメイプル・ネックを採用したテラー・リブを備える"50's TL"。厳選した材のみを使用し、さらにキャビ・ハウスの合わせ込みを行って丁寧に製作しました。ダイナミック・トーンが約束された電極の本体に、豪快にして抜群のレスポンスを兼ね備えた"THE '51"を搭載しています(ピックアップは、この他にTHE '49、THE '52、THE '59、ZOSOの選択が可能です)。

## Crows Maniac Sound / K&T Super TG with N.O.S. WEEP (ZB WW)

¥380,000 ( with Hardshell Case )

**Specifications** ●Body : Selected One Piece Ash ●Neck : Selected One Piece Hard Maple, 210R  
●Pickup : K&T N.O.S. WEEP Set (ZB WW) ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 648mm, 21F ●Machine Head : Gotoh SD91 ●Bridge : Crews OLD TE Fine tune Special Cur  
●Control : 1Vol, 1Tone, 3pos Switch ●Finish : Lacquer

60年代初期のヴァンテージ・コイルで巻き上げた"NOS WEEP"を、究極の無垢アッシュ材と匠の業で組上げた本体に搭載した"Super TG"。ブリッジをカットし、まさに"テレギブ"を再現したマニアックなモデルです。極太のネック・グリップもアウトプットされるトーンも、まるでJ.B.の古いアナログ盤のようですが、ひとたびボリュームを絞ると驚くほどテラー特有のシングルコイル・トーンが聴けます。この艶と音色の表現は、他モデルでは味わえません。

## Crows Maniac Sound / K&T Texas No.1 with Austin Legend

¥398,000 ( with Hardshell Case )

**Specifications** ●Body : Selected One Piece Alder ●Neck : Hard Maple ●Fingerboard : Premium Jacaranda, 210R (Round Board) with 21k Overlay #100 Flat ●Pickup : K&T Austin Legend Set ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 648mm, 21F ●Machine Head : Gotoh SD91 ●Bridge : Gotoh GE1011S Left ●Control : 1Vol, 2Tone, 5pos Switch ●Finish : Cloudy Lacquer Finish

## Crows Maniac Sound / K&T ST 69 Maple with WATCHTOWER

¥348,000 ( with Hardshell Case )

**Specifications** ●Body : Selected One Piece Alder ●Neck : Selected Hard Maple ●Fingerboard : Selected Hard Maple, 210R (Round Board) ●Pickup : K&T WATCHTOWER Set ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 648mm, 21F ●Machine Head : Gotoh SD91 ●Bridge : Gotoh GE1011S ●Control : 1Vol, 2Tone, 5pos Switch ●Finish : Cloudy Lacquer Finish

## MUSIC LAND KEY Special Order Fender Japan ST-80'S Type L.A. with Valve Bender

¥168,000 ( with Hardshell Case )

**Specifications** ●Body : Alder ●Neck : One piece Maple, 305R with 21k Overlay ●Pickup : K&T Valve Bender ●Scale : 648mm, 21F ●Machine Head : Gotoh SGE ●Bridge : Gotoh GE1987 ●Control : 1Vol

## Crows Maniac Sound / K&T 60's TL with THE '59

¥398,000 ( with Hardshell Case )

**Specifications** ●Body : Selected One Piece Alder with Binding ●Neck : Hard Maple ●Fingerboard : Premium Jacaranda, 210R ●Pickup : K&T THE '59 Set ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 648mm, 21F ●Machine Head : Gotoh SD91 ●Bridge : Crews Old TE Fine tune ●Control : 1Vol, 1Tone, 3pos Switch ●Finish : Cloudy Lacquer Finish



**MUSIC LAND KEY Special Project**  
**Crews Maniac Sound / K&T**  
**KTR LTD (KEY To The Rock Limited) with NFS**  
 ¥210,000 ( with Hardshell Case )

*Specifications* ●Body : North American Hard Maple top African Mahogany Back ●Neck : South American Mahogany (30 Years Air Drying) ●Fingerboard : Asian Rosewood, 305R (30 Years Air Drying) ●Pickup : K&T NFS Ser ●Scale : 625mm, 22F ●Machine Head : Gotoh SD90-SL ●Bridge : Gotoh GE104B ●Tailpiece : Gotoh GE101Z ●Control : 2Vol, 2Tone, 1Toggle Switch ●Finish : Lacquer

30年以上に渡り良い楽器を具現化してきたCrews製品のプロデューサー 青岡喜久夫と、30年以上に渡りピックアップの構造を解析し、当時のトーンを完全手巻でリアルに再現する高野順という巨匠2人のコラボレーションにより完成したスペシャル・モデル。ネックに30年以上エアドライされた極上のマホガニー材を使用し、歴史ある寺田楽器のベテラン・ビルダー達が1本1本心を込めて丁寧に製作しました。材の特性を熟考し、新たに開発・製作した専用ピックアップ“NFS”を搭載。ボディのサンバーストもヴィンテージをイメージさせる3色を用意しました。ミュージックランドKEYが特別価格で提供する限定モデルです。



**Crews Maniac Sound / K&T**  
**Giant Steps with JIG**  
 ¥368,000 ( with Hardshell Case )

*Specifications* ●Body : Selected One Piece Alder ●Neck : Hard Maple ●Fingerboard : Premium Jacaranda, 210R ●Pickup : K&T JIG Ser ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 864mm, 20F ●Machine Head : Gotoh GB29 ●Bridge : Crews Spiral Bridge ●Control : 2Vol, 1Tone ●Finish : Cloudy Lacquer Finish

プレミアム・ハカランダ指板、ハードメイプル製ネック、厳選された極上の単板アlderボディを匠の業で組上げ、優れたレスポンスとサステインに貢献する無漂白無脱脂ナットを採用したトラディショナル・モデル“Giant Steps”。ジャコ・パストリアス、ジョン・ポール・ジョーンズの音圧と音抜けの秘密を復元した“JIG”を搭載しています。



**Crews Maniac Sound / K&T**  
**Led Premium with N.O.S. WEEP (ZB WW)**  
 ¥488,000 ( with Hardshell Case )

*Specifications* ●Body : Hard Maple top ●One Piece Honduras Mahogany Back ●Neck : One Piece Honduras Mahogany ●Fingerboard : Premium Jacaranda, 310R ●Pickup : K&T N.O.S. WEEP Ser (ZB WW) ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 825mm, 22F ●Machine Head : Gotoh SD90-SL ●Bridge : Gotoh GE104B ●Tailpiece : Crews Aluminum Tailpiece ●Control : 2Vol, 2Tone, 1Toggle Switch ●Finish : Lacquer



**Rezalla**  
**Urbanity Plus with WEEP (BB ZB)**  
 ¥268,000 ( with Hardshell Case )

*Specifications* ●Body : Chambered One Piece Mahogany Body ●Dressed Ash 4-Ply Flame Maple Top ●Pinned Ash 4-Ply Mahogany Back ●Neck : One Piece Mahogany ●Fingerboard : Honduras Rosewood, 305R ●Pickup : K&T WEEP Ser (BB ZB) ●Nut : Ivory (real elephant tusk) ●Scale : 625mm, 22F ●Machine Head : Gotoh SD90-SL ●Bridge : Gotoh GE104B ●Tailpiece : Gotoh GE101Z ●Control : 2Vol, 2Tone, 1Toggle Switch ●Finish : Lacquer



**Crews Maniac Sound / K&T**  
**JB Punk Traditional FL with JIG**  
 ¥368,000 ( with Hardshell Case )

*Specifications* ●Body : Selected One Piece Alder ●Neck : Hard Maple ●Fingerboard : Premium Jacaranda, 210R ●Pickup : K&T JIG Ser ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 864mm ●Machine Head : Gotoh GB29 ●Bridge : Crews Spiral Bridge ●Control : 2Vol, 1Tone ●Finish : Cloudy Lacquer Finish



**Crews Maniac Sound / K&T**  
**NPB Traditional with POWER BOMB**  
 ¥368,000 ( with Hardshell Case )

*Specifications* ●Body : Selected One Piece Alder ●Neck : Hard Maple ●Fingerboard : Premium Jacaranda, 210R ●Pickup : K&T Power Bomb ●Nut : "Non Remove Fat Non Bleached" Bone Nut ●Scale : 864mm, 20F ●Machine Head : Gotoh GB29 ●Bridge : Crews Spiral Bridge ●Control : 1Vol, 1Tone ●Finish : Cloudy Lacquer Finish

MUSIC LAND  
**KEY**  
since 1966

<http://www.musicland.co.jp/>

### 札幌店

〒060-0063 札幌市中央区南3条西3丁目 第2タムラビルB1F

Tel: 011-242-0678

### 高崎店

〒370-0849 群馬県高崎市八島町46-1 高崎ビブレ 6F

Tel: 027-388-8878

### 池袋店

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-17-8

Tel: 03-5952-1144

### 新宿店

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-8-2

Tel: 03-3354-2121

### 渋谷店

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町16-12

Tel: 03-3463-0606

### 横浜店

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2丁目2-1 横浜ワールドポーターズ 3F

Tel: 045-222-2322

### 京都店

〒604-8035 京都市中京区新京極通り三条下る桜之町407-1

新京極 詩の小路ビル3F/4F

Tel: 075-254-7780

### 心斎橋店

〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-6-32-2F

Tel: 06-6282-6366

### 福岡店

〒810-0001 福岡市中央区天神1-11-1 天神ビブレ6F

Tel: 092-716-0404

### フーチーズ

〒154-0011 東京都渋谷区道玄坂1-16-7 B1F

Tel: 03-5428-6739

<http://www.hoochies.info>

MODERN **K&T** VINTAGE  
GUITARS



「50年待つ必要はありません。」

高野 順

K&Tピックアップは、世界のトップギタリストを驚愕させたマイスター「高野 順」が、30年以上に渡り多くのウィンテージ・ピックアップを分解、検証したノウハウを基に、本人の手により製作されています。コイルの手巻きはもちろんのこと、製作に関するすべての工程は正しく「手作り」。あなたのために、ひとつひとつの心を込めてハンドワインディングしたウィンテージ・トーンをご堪能下さい。